

ライフジャケットの種類と安全対策等

〔商品の種類〕

- 浮力体の構造で分類すると、固型式、膨脹式、気体密封式、ハイブリット式の4種類がある。水辺のレジャー活動では、主に固型式と膨脹式が着用されている。
- 固型式と膨脹式の特徴

固型式	膨脹式
様々な場所で使用可能 (岩場等での使用も問題ない)	使用に向かない場所あり (岩場等、気室に穴が空く恐れがある場所での使用に不向き)
膨脹式と比較して ・動きにくい ・夏に着ると暑い ・かさばる ・点検が容易 ・常時水に入る活動に向いている	固型式と比較して ・動きやすい ・夏に着ても涼しい ・コンパクト ・点検が複雑 ・一度膨脹させるとガスボンベ等の交換が必要

〔商品の性能基準〕

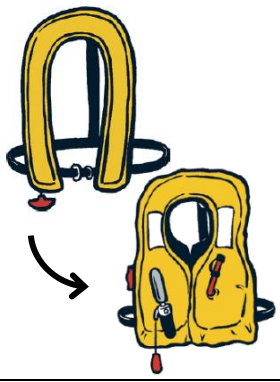
- 水遊びなどで着用するライフジャケットに強制規格はない。このため、水辺のレジャー活動に用いられるライフジャケットは、性能基準が有るものと無いものが混在している状況である。

第1 商品の種類

1 構造

ライフジャケットを浮力体の構造で分類すると、表1の4種類がある。

表1 ライフジャケットの種類（浮力体の構造による分類）¹

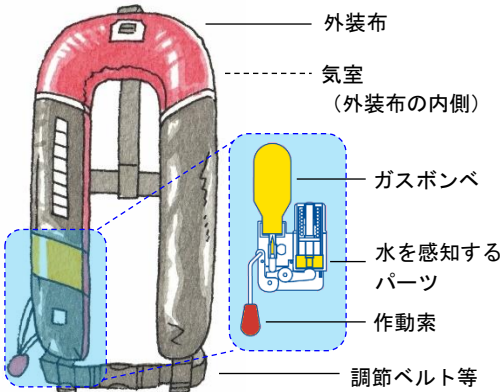
固型式	膨脹式	気体密封式	ハイブリット式
			
固有に浮力をもった材料（ポリエチレンフォーム等）を浮力体として使用するもの	気体（炭酸ガス等）を浮力体として使用するもの ※ガスボンベから気室に気体が充填され膨らむ。	気体を密封した袋を浮力体として使用するもの ※気密性の袋を保護するため、表面に薄い固型の浮力材を併用している。	固型式の要素と膨脹式の要素の両方を持つもの ※固型の浮力材のみで最低限の浮力を有し、膨脹させることで十分な浮力を得る。

国内では、固型式及び膨脹式のものが多く販売されている。一方で、気体密封式及びハイブリット式は、水上作業（漁業者等）向けのものが多く、また現在販売されている商品数も少ないため、一般消費者が入手、着用することはあまりない。

水辺のレジャー活動では、主に固型式及び膨脹式が着用されており、その特徴の比較を、表2に示す。

¹ イラスト出典 / 公益財団法人マリンスポーツ財団「WEAR IT! ライフジャケット Q&A」

表2 固型式・膨脹式ライフジャケットの特徴

種類	固型式	膨脹式
浮力体	ポリエチレンフォーム等 (固有に浮力をもった材料)	炭酸ガス等 (気室を膨らませる気体)
模式図 ^{2,3}	 引上げ用グラブハンドル 調節ベルト等 股ベルト	 外装布 気室 (外装布の内側) ガスポンペ 水を検知するパーツ 作動索 調節ベルト等
主な構成部品等	引上げ用グラブハンドル： 水中から引き揚げの際等に掴む持ち手 (付いていないものもある) 調節ベルト等： 体に合わせてサイズを調節できるベルト、紐 (腹部にあるものが多く、腹部に加えて肩や腰部にも調節ベルト等がありサイズを細かく調節できるものもある) 股ベルト： 飛び込み時の脱げや水中でのずり上がりなどを防止するベルト (子供用のものに付いていることが多い)	外装布： 気室を保護するカバー 気室： ガスポンペの気体で膨らむ浮袋 ガスポンペ： 炭酸ガス等を密閉した容器 水を検知するパーツ： 水を検知して溶ける錠剤や和紙等 作動索： 引くとガスポンペに穴を空ける手動装置 調節ベルト等： 体に合わせてサイズを調節できるベルト等
使用場所	様々な場所で使用可能 (岩場等での使用も問題ない)	使用に向かない場所あり (岩場等、擦れるなどして気室に穴が空く恐れがある場所での使用に不向き)
長所 短所	膨脹式と比較して ・動きにくい ・夏に着ると暑い ・かさばる (持ち運びや保管がしづらい) ・点検が容易 (浮力材の変形、生地劣化の確認など) ・常時水に入る活動に向いている (膨脹式は水を検知して自動で膨らむ方式が多いため)	固型式と比較して ・動きやすい ・夏に着ても涼しい ・コンパクト (持ち運びや保管がしやすい) ・点検が複雑 (気室の損傷、ガスポンペの取付状態、水を検知するパーツの使用期限の確認など) ・一度膨脹させるとガスポンペ等の交換が必要
価格	安価なものから高価なものまで 様々な価格のものがある	比較的高価なものが多い

² ライフジャケット イラスト出典 / 河川財団「水辺の安全ハンドブック」 Illustration / 山下 航

³ 膨脹装置 イラスト出典 / 公益財団法人マリンスポーツ財団「WEAR IT! ライフジャケット Q&A」

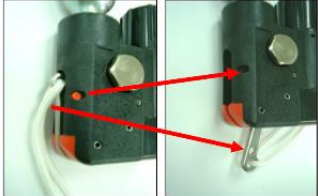
【参考】ライフジャケットの主な点検事項

ライフジャケットの主な点検事項を、表3に示す。

固型式は、バックル等の損傷や劣化の有無などの外観点検が主である。

膨脹式は、外観点検に加えて、ガスボンベの取付状態や水を感じずるパーツの使用期限の確認などが必要なため、固型式と比較し念入りの点検が必要である。

表3 ライフジャケットの主な点検事項⁴

固型式	膨脹式
・浮力体の変形や偏りがないか ・バックル、ベルト、生地等に損傷や劣化がないか  (例) バックルの損傷	・気室に空気漏れがないか ・バックル、ベルト、生地、補助送気管等に損傷や劣化がないか  (例) 生地の損傷
	・ガスボンベの取付状態は適正か ・ガスボンベの封板が破れていないか  (例) 取付が緩い  (例) 封印の破れ
	・膨脹装置が作動していないか  作動前 → 作動後 (例) 作動索が下がり安全ピンが脱落
	・水を感じずるパーツ（カートリッジ⁵）の使用期限が過ぎていないか  使用期限2015年5月の例 期限月(5月) 期限年(2015年) (例) 使用期限表示  製造年月 (平成16年1月) (例) 製造年月表示

⁴ 写真出典 日本小型船舶機構検査機構「ライフジャケットの不具合事例と点検の重要性について」及び「小型船舶用膨脹式救命胴衣の保守・点検マニュアル」より

⁵ スプール等と表記されているものもある。

2 固型式ライフジャケット

国内で販売されている固型式ライフジャケットの主な形状等の特徴を表4に、商品例を表5に示す。

表4 固型式ライフジャケットの形状等の特徴

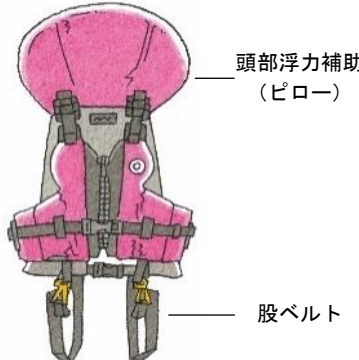
	大人用	子供用
股ベルト	有るものと無いものがある	有るものが多い
サイズ展開	フリーサイズのみ（1サイズだけ）のものと、サイズが複数あるものがある	サイズが複数あるものが多い
その他	様々な水辺のレジャー活動に使えるものがある一方、釣りやカヌー、シュノーケリング、セーリング等、活動内容に合わせてデザインされた商品もある	
	例：釣り向け⁶ ・釣りを入れる大き目のポケットが複数ある 等 	例：子供用⁸ 

表5 固型式ライフジャケットの商品例

大人用			子供用
汎用型	釣り向け	カヌー等向け	汎用型
			

⁶ イラスト出典 / 公益財団法人マリンスポーツ財団「WEAR IT! ライフジャケット Q&A」

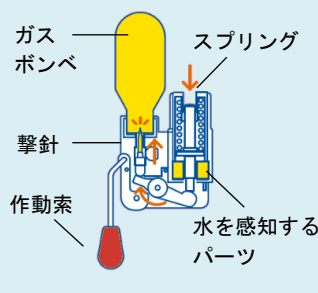
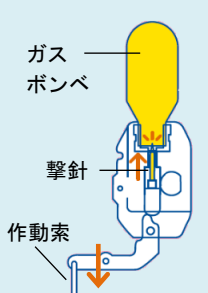
⁷ 同上

⁸ イラスト出典 / 河川財団「水辺の安全ハンドブック」 Illustration / 山下 航

3 膨脹式ライフジャケット

国内で販売されている膨脹式ライフジャケットの起動方式を表6に、主な形状と使用方法を表7に、商品例を表8に示す。

表6 膨脹式ライフジャケットの起動方式

起動方式	自動膨脹式 水を感じて自動で膨らむ方式	手動膨脹式 手動で膨らませる方式
模式図 ⁹	 ①水を感じるパーツが水に浸かると溶ける ②スプリングが伸び撃針が上がる ③撃針でガスボンベに穴が空き、炭酸ガス等が放出され気室が膨らむ	 ①作動索を引く ②撃針が上がる ③撃針でガスボンベに穴が空き、炭酸ガス等が放出され気室が膨らむ

※ 国内で販売されている膨脹式ライフジャケットは、自動膨脹式（手動膨脹も可能なもの）が多い。

表7 膨脹式ライフジャケットの主な形状と使用方法

形状	首かけ式 ¹⁰	ベルト式	ポーチ式
模式図 ¹¹			
使用方法	マフラーのように首に掛け、腹部のベルトで体に固定して使用する。 膨脹させると体の前面と後頭部の気室が膨らむ。	ベルトのように腰に巻きつけて使用する。（気室の収納部が体の背面にあるように装着する。） 膨脹させると気室が腰回りで浮輪のような形状になる。	ウエストポーチのように腰に巻きつけて使用する。（気室の収納部が体の前面にあるように装着する。） 膨脹させると気室がポーチから飛び出すため、膨らんだ気室を首に掛けて使用する。

表8 膨脹式ライフジャケットの商品例

大人用		子供用
首かけ式	ベルト式	首かけ式
		

⁹ イラスト出典 / 公益財団法人マリンスポーツ財団「WEAR IT! ライフジャケット Q&A」

¹⁰ 肩かけ式と表記されているものもある。

¹¹ 同上

4 特徴的な商品

国内で販売されている商品で、機能面等で特徴があるものを表9に示す。

表9 機能面等で特徴がある商品

種類	固型式		膨脹式
特徴	幅広いサイズ調節が可能	クッションとして使用可	呼気膨張式
	ベルトを調節することで XS から XXL サイズに対応 ※股ベルト及び頭部浮力補助が 付いた子供用もあり	折り畳みができ、普段は クッションとして使用可能 ※子供用もあり	息を吹き込み、気室を膨らま せる膨脹方式 ※自動膨脹式と比べるとガスボンベ や水を感じするパツが無いた め、部品交換の必要がなく点検も 容易
商品 写真			
	(調節システム) フォームを前後合わせて9つのパネルに分割し、ウエストベルトを調節することによって体型・レイヤリングを問わず幅広いサイズに対応します。 	(折り畳んだ状態) 	(息吹込み) (収納時)   サイズ 23 × 26cm

第2 商品の性能基準

小型船舶用のライフジャケットは関係法令において性能基準が定められている一方、水遊びなどで着用するライフジャケットに強制規格はない。

このため、水辺のレジャー活動に用いられるライフジャケットは、表 10 に示すように性能基準が有るものと無いものが混在している状況である。

(国内の規格・基準等の詳細は資料 3 を、海外の規格・基準等の詳細は資料 4 を参照。)

表10 水辺のレジャー活動に用いられるライフジャケットの主な性能基準

分類		性能基準（規格・基準等）
国内	【法定】 小型船舶用	小型船舶用救命胴衣等の型式承認試験基準（桜マーク） ¹²
	【任意】 レジャー用	レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準（CSマーク）
		RAC川育ライフジャケット認定規則（RAC川育ライフジャケット認定マーク）
海外		米国：UL規格 等（USCG承認、ULマーク） 欧州：EN ISO規格（CEマーク） など
性能基準 不明		上記の規格・基準等の承認、認証のマーク等が無いもの

※SOLAS 適合品（SOLAS 条約に基づき国際的に性能基準が定められているもの）もあるが、中型・大型船舶（総トン数 20 トン以上）搭載用のため、水辺のレジャー活動で着用することはあまりないと考えられる。

【参考】検定数等

日本小型船舶検査機構が過去 5 年間に実施した「国土交通省型式承認（桜マーク）検定実績」を表 11 に、「性能鑑定（CS マーク）実績」を表 12 に示す。

なお、本数量は検定数又は鑑定数であり実際の販売数ではないこと、RAC 川育ライフジャケット認定や性能基準が不明なもの等の数量が含まれていない点に留意する必要がある。

表 11 日本小型船舶検査機構 国土交通省型式承認（桜マーク）検定実績

		R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	計
小型船舶用 救命胴衣	膨脹式	90,780	70,521	116,042	92,979	56,279	426,601
	上記以外 (固型式など)	66,163	75,843	67,891	63,118	58,668	331,683

表 12 日本小型船舶検査機構 性能鑑定（CS マーク）実績

		R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	計
レジャー用 ライフ ジャケット	固型式	19,400	20,257	49,929	42,005	24,456	156,047

¹² 磯等へ渡る目的として遊漁船に乗船する場合や防波堤等の上においては、ライフジャケットを着用する必要がある。ただし、釣り等の船外への転落のおそれがある行為を行わない場合は、桜マーク付きのライフジャケットである必要はなく、使用環境に応じた適正品を着用すればよい。(水産庁「ライフジャケットの着用義務化に関する Q&A」問 31 より) なお、「使用環境に応じて型式承認品と同等以上の性能を有する救命胴衣等」の具体的なものは、例として運輸安全委員会が作成した安全啓発リーフレット「瀬渡し船を利用される皆様へ」において、釣りの場所に合ったライフジャケットとして、紹介されている。(水産庁「運輸安全委員会からの意見（平成 30 年 2 月 22 日付け）への対応に関する Q&A」問 2-1 より)

第3 商品の表示事項

商品に表示されている注意事項等を把握するため、ライフジャケット 15 商品の本体や添付書類の記載内容などを調査した。対象商品は「大人用の固型式ライフジャケット」とし、選定にあたっては、認証マーク等の有無や価格、製造事業者等に偏りが出ないようにした。

1 表示調査した商品の主な仕様等

表示調査を行ったライフジャケット 15 商品の「主な仕様」及び「本体又は添付書類における浮力等の基本情報の表示の有無」を表 13 に整理した。

表 13 表示調査商品の主な仕様及び本体又は添付書類における基本情報の表示の有無

大項目	中項目	ライフジャケット No.															該当数 (15 商品中)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
製造事業者等		国内							海外		不明（ノーブランド等）						—
認証マーク等		桜 (TYPE: D)	CS (L 3)	CS (L 2)	RAC				USCG (レベル 70)	CE (レベル 50)							6
股ベルト		○		○	○	○		○			○	○		○		○	9
引上げ用 グラブハンドル					○	○									○		3
反射材		○		○		○		○			○	○		○		○	8
ホイッスル		○		○		○					○	○				○	6
サイズ展開数		3	2	1	2	2	2	1	3	5	1	1	7	1	2	1	—
適応 サイズ 情報	身長	○	○		○	○		○									5
	体重				○			○	○	○							4
	胸囲				○	○	○	○	○	○							6
素材 情報	本体等	○		○	○	○	○	○		○		○	○	○		○	11
	浮力材	○		○	○	○	○	○				○	○			○	9
浮力表示		○ 7.5kg 以上	○ 5.85kg 以上	○ 7.5kg 以上	○ 9.1kg	○ 9.0kg	○ 7.5kg			○ 45N		○ 約 7.5kg					8
洗濯表示		○		○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	12
製造 情報	型式等	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	13
	ロット番号	○	○	○					○	○							4
	製造時期	○								○							2
	生産国	中国	不明	ベトナム	ベトナム	マレーシア	中国	中国	ベトナム	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国	海外 14
企業 情報	名称等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				12
	住所	○	○	○	○		○	○	○	○							8
	電話	○	○	○		○	○	○	○								7
購入価格 (円) 千円以下四捨五入		6,000	12,000	16,000	6,000	5,000	12,000	3,000	11,000	15,000	2,000	3,000	4,000	4,000	3,000	3,000	—
添付 書類	形状	取説	取説	取説	カード	カード	取説	取説	カード	カード	なし	カード	カード	なし	なし	カード	取説 5 カード 7 なし 3
	言語 ※ 1	日	日	日	日	日	日英	日	英多	日多	—	日	中	—	—	日	日あり 10 日なし 5

※ 1 日＝日本語、英＝英語、中＝中国語、多＝複数言語（日本語、英語、中国語以外の言語）

基本情報は、本体等の素材の名称を表示している商品が多かった一方、適応サイズの身長、体重や製造時期を表示している商品は少なかった。

添付書類は、取扱説明書やカードタイプ（1枚の厚紙等に注意事項等が記載されたもの）があった一方、添付書類が無い商品もあった。

2 認証マーク等及び安全性に関する機能等

調査を行ったライフジャケット 15 商品の認証マーク等の表示状況を表 14 に、安全性に係る機能・付属品等の有無を表 15 にまとめた。

表 14 認証マーク等の表示

認証マーク等	該当数 (15 商品中)
桜マーク（小型船舶用救命胴衣等）	1
CS マーク（レジャー用ライフジャケット）	2
RAC マーク（RAC 川育ライフジャケット）	1
CE マーク（EN ISO 規格）	1
USCG 承認（UL 規格等）	1
なし	9

表 15 安全性に係る機能・付属品等の有無

安全性に関連する機能、付属品等		該当数 (15 商品中)
調節ベルト等	胴部（脇、腰、腹のいずれか）	15
	肩	5
股ベルト		9
引き上げ用グラブハンドル		3
反射材		8
ホイッスル		6
サイズ展開	1 サイズのみ（フリーサイズ）	6
	2 サイズ	5
	3 サイズ以上	4

調節ベルトは、全商品が胴部に有していた一方、肩に有する商品は一部であった。

股ベルト、引き上げ用グラブハンドル、反射材、ホイッスルは、有しない商品もあった。特に、引き上げ用グラブハンドルは、比較的有しない商品が多かった。

サイズ展開は、1 サイズ（フリーサイズ）のみの商品と複数サイズを有する商品があった。

3 使用等に関する表示

調査を行ったライフジャケット 15 商品の本体又は添付書類における使用等に関する表示内容を表 16 に整理した。

表 16 ライフジャケットの使用等に関する表示内容 (15 商品中)

項目	記載内容	記載箇所		いずれかに表示のある商品
		本体	添付書類	
着用方法等	着用方法	6	6	9
	パーツ・機能の説明	0	9	9
	着用方法のイラスト	1	6	7
着用時の注意事項	股ベルトやファスナーを適切に着用すること	6	8	11
	着用前に破損や破れを含む不具合がないかを点検・確認すること	6	5	10
	自身のサイズにあった製品を着用すること	3	5	7
	子供が着用する際の注意、子供が着用しないこと	3	4	7
	所有者以外が着用する際には注意喚起をすること	1	1	2
	マリンウェア、ウエットパンツを着用すること	1	1	2
その他の注意事項	使用用途、使用用途以外の使用をしないこと	7	9	11
	万が一の場合に備えて通信手段を確保すること (118 番、119 番への連絡)	0	5	5
	飲酒をしないこと	1	4	4
	安全を 100%保証することはできないこと	0	4	4
	体温低下、熱中症に注意すること	0	4	4
	化学繊維のアレルギーについて注意すること	2	3	3
	悪天候時には水辺から離れること	0	3	3
	股ベルトを首に掛けないこと	2	0	2
	飛び込みをしないこと	1	0	1

(1) 着用方法等

着用方法の表示は、内容にばらつきはあるものの全体の 6 割以上の商品で記載があった。また、イラスト付きで着用方法を示したものは全体の 4～5 割程度であった。

(2) 着用時の注意事項

着用時の注意事項の表示については、「股ベルトやファスナーの適切な着用」に関する内容が最も多く、全体の 7～8 割程度の商品に記載されていた。

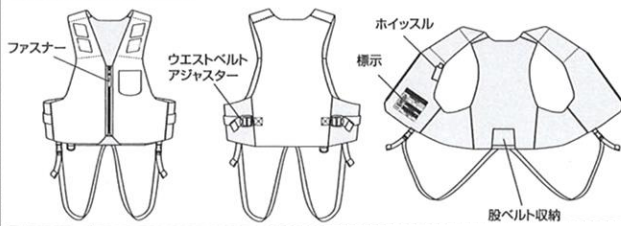
(3) その他の注意事項

その他の注意事項の表示については、様々な内容があり、飲酒禁止や飛込禁止などの水辺で活動する際に注意すべき内容に関する記載も多くあった。

表示の例を図 1 及び図 2 に示す。

2.仕様について

浮力…7.5kg 以上/24時間 生地…ポリエステル
浮力材…発泡ポリエチレン



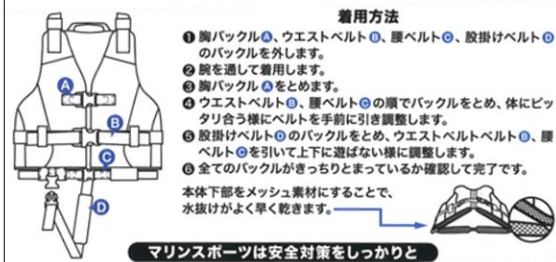
注意

この製品の上にものを乗せたり、座ったりしないでください。生地や浮力材の変形、損傷の原因となります。
この製品は化学繊維を使用しています。ポリエステル生地やナイロン生地に対してアレルギーなどの症状が出たことのある方は、事前に医師への相談をおすすめします。使用中又は使用後に肌に異常があらわれた場合は、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。
※股ベルト収納には股ベルト以外は収納しないでください。救命胴衣の性能に影響を及ぼす可能性があります。

3.着用方法



(画像出典：高階救命器具株式会社 BSJ-201ARS 取扱説明書)



マリンスポーツは安全対策をしっかりと

(画像出典：株式会社キヌガワ KA9025 附属カード)

図1 着用方法等の表示(例)

1.安全にご使用いただくために

このたびは、当製品(小型船舶用救命胴衣)をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
当製品を長期間安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。本書に示した注意事項は、製品を正しく安全にご使用いただき、着用者や周りの方々への危害を未然に防ぐためのものです。よくお読みになってこれらの注意事項を必ずお守りください。
本書では正しい取扱いに関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

注意

取扱いを誤った場合、着用者に危害がある。または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

警告

この製品は小型船舶用救命胴衣(TYPE D)です。小型船舶でご利用になる場合には、沿岸小型船舶水域・2時間限定沿海区域・平水区域を航行区域とする小型船舶で法定備品として使用できます。
この製品は12歳未満の方は使用しないでください。12歳未満の方は小児用小型船舶用救命胴衣をご使用ください。
所有者以外が着用する場合は、所有者が本取扱説明書の内容について、着用者に説明してください。
使用前にファスナーやアジャスターなどの部品が壊れていないか、生地やベルトに破れがないか確認してください。壊れや破れが見つかった場合には、新しいものに交換してください。
使用前、使用中は飲酒しないでください。
この製品は火気に近づけないでください。
この製品は絶対に改造しないでください。小型船舶用救命胴衣としての機能を失う恐れがあり、また国土交通省型式承認品として認められなくなる恐れがあります。
救命胴衣の着用により、水難事故や水中転落時の生存率が向上しますが、生存率100%保証するものではありません。悪天候時、又は悪天候が予想される時にはできるだけ早く寄港又は上陸してください。
万が一の水難事故に備えて、救助するための通信手段の確保を心がけてください。

(画像出典：高階救命器具株式会社
BSJ-201ARS 取扱説明書)

取扱上の注意

- 使用前には必ず、糸のほつれやファスナー、ベルト等の装着部品の点検を行い、異常があった場合は使用しないでください。また生地や浮力体が傷んだ場合も使用しないでください。
- 着用の際はライフジャケットがずれたり脱げたりしないようにバックルをセットし、ウエストベルト、股ベルトはしっかりと確かめて締めてください。
- 生地や浮力体に変形、損傷の原因になりますので、ライフジャケットの上に物をのせたり座ったり、火気付近に放置したりしないでください。
- 子供が使用の場合、着用は保護者が行い、必ず保護者の監督のもとで、子供の背の立つ深さで使用してください。
- 着用はまずフロントバックルをセットします。次にウエストベルト・腰ベルトを体にピッタリ合うように調整してください。最後に股掛け用ベルトのバックルをセットしベルト先端部をしっかりと引いて調整し本製品の中で体が遊ばないようにしてください。
- 股掛けベルトを首に決して掛けないでください。
- ライフジャケットは、あくまでも浮力補助用です。小型船舶等の法定備品救命胴衣としては使用できません。

(画像出典：株式会社キヌガワ KA9025 本体)

図2 着用時の注意事項及びその他の注意事項の表示(例)

4 保管・メンテナンスに関する表示

調査を行ったライフジャケット 15 商品の本体又は添付書類における保管・メンテナンスに関する表示内容を表 17 に整理した。

表 17 ライフジャケットの保管・メンテナンスに関する表示内容 (15 商品中)

項目	記載内容	記載箇所		いずれかに表示 のある商品
		本体	添付書類	
保管・メンテナンス に関する注意事項	直射日光、紫外線、高温多湿などの 環境で保管をしないこと	5	7	11
	洗浄方法、使用可能な洗剤	9	7	10
	劣化・変色に注意すること	5	7	9
	上に重量物を載せないこと	5	7	9
	熱源に近づけないこと	4	6	8
	折り曲げないこと	2	4	5
	改造・分解しないこと	0	4	4
	化学薬品に近づけないこと	1	1	2

保管・メンテナンスに関する表示については、「直射日光、紫外線、高温多湿などの環境で保管をしないこと」次いで「洗浄方法、使用可能な洗剤」に関する内容が、最も多く記載されていた。

表示の例を図 3 に示す。

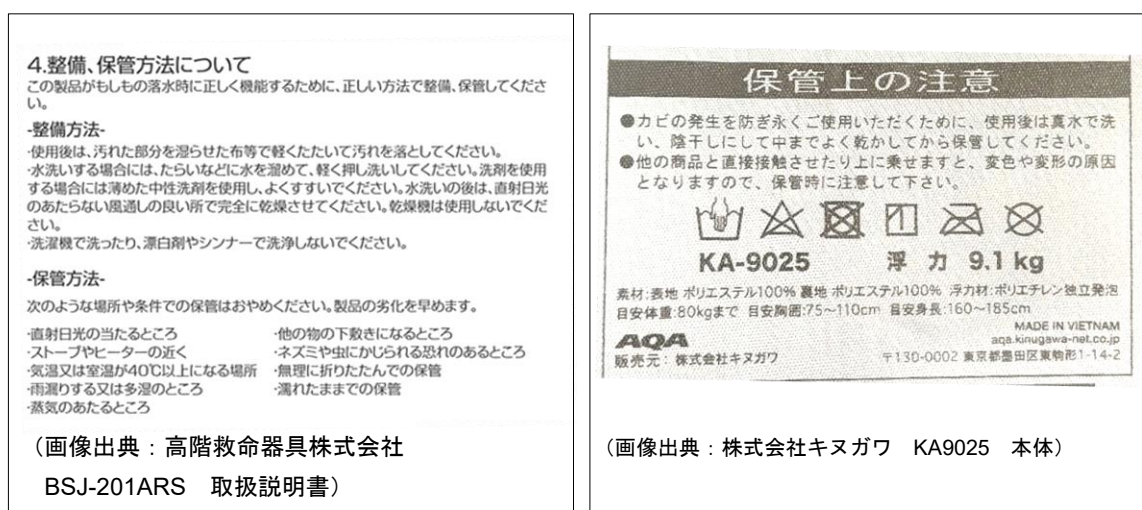


図 3 保管・メンテナンスに関する注意事項の表示 (例)

5 インターネット販売サイトでの表示

商品を購入したインターネット販売サイトの販売ページの表示についても調査を行った。

表示調査した全商品において、販売ページの表示は、商品の販売促進に関する内容の記載が多くを占めており、使用等に関する注意事項の記載は少なかった。

認証マーク等を取得している商品の販売ページには、認証マーク等が表示されている旨を記載していることが多かった。

また、15 商品中 5 商品の販売ページで、「国土交通省の型式承認品ではないこと」や「小型船舶の法定備品として使用できない」等の記載があった。

6 その他

(1) 使用等に関する注意事項の表示が一切ないライフジャケット

表示調査した多くのライフジャケットでは、本体又は添付書類（取扱説明書、カード等）に、記載内容や文量に差はあるものの使用等に関する注意事項が記載されていた。

一方、ライフジャケット No.12、13、14 では、使用等に関する注意事項の表示が一切なかった。

(2) 日本語以外が表示について

ライフジャケット No.8 では、本体及び添付書類に、使用等に関する注意事項を含む様々な内容が記載されていたが、すべて外国語であり、日本語の表示はなかった。

また、ライフジャケット No.9 については、本体にタグが 10 枚程度連なって縫い付けられており、日本語を含め複数の言語で同様の注意事項等が記載されていた。

7 表示調査結果のまとめ

ライフジャケット 15 商品について表示調査を行った結果、適応サイズの表示や取扱説明書等の添付書類の有無などは、商品によって異なっており、統一性はあまりなかった。

また、ライフジャケットの使用等に関する注意事項については、本体や添付書類にイラストを交えた詳細な記載があるものがあった一方、記載が一切ないものもあり、商品による差が大きい結果となった。